

キラリ わたしの学校

鬼石小学校

問い合わせ 学校教育課 (☎08212)
鬼石小学校 (☎02756)

～「す」「ま」「い」「る」で、みんなにここにこ～

鬼石校区では、「地域や自他を大切に社会に貢献できる自立した児童生徒の育成」の実現に向けて取り組んでいます。

鬼石小学校では年に2回の人権集中学習を実施しています。12月は「自分もまわりも気持ちよく生活するために」「いろいろな人と仲良くなろう」を重点目標として、人権集中学習を実施しました。児童会役員と代表委員会の話し合いで「す」「ま」「い」「る」を頭文字にしたスローガンを決め、そのスローガンに沿った学級目標に取り組みます。今年のスローガンは「す：すすんであいさつ」「ま：まいにちえがお」「い：いいところをみつけて」「る：ルンルン楽しい鬼石小」でした。児童会役員の平田君・鈴木さん・金



↑体育館での全校給食。

澤君は「みんなの笑顔が増えて、効果が表れている」と元気に話します。

集中学習の一環として、全校給食・全校レクを実施しました。全校給食は全校児童が体育館で縦割り班ごとに分かれて丸くなり給食を食べます。教室とは違った雰囲気です。全校レクは校庭で「ドッジビー」を行いました。高学年の児童が低学年の児童を守ったり気遣ったりしながら楽しい時間を共有できました。校内のさまざまな場面で思いやりのある言動が見られ、鬼石小学校は笑顔にあふれています。

今後もみんなが笑顔で生活できるよう自他を大切にできる児童を育てていきたいと思ひます。



Name

ひらた しゅうあ すすき はなめ かねざわ みらい
平田 柊亜くん 鈴木 花明さん 金澤 未来くん

人権を考える

問い合わせ 生涯学習課 (☎06888)



～人権講演会アンケート～

「障がいのある人への人権」
「インターネットによる人権侵害」「子どもの人権」が15%を越え、どの年代にとっても関心の高い課題であることが分かります。

一昨年度からの新項目「性的少数者の人権」は20歳代の約2倍になり、若者層での関心の高まりが顕著になっています。関心が低い他の年代に対しても、積極的に啓発活動を進める必要があると感じます。

昨年12月12日に開催した人権講演会には、527人の参加があり、そのうち411人からアンケートの回答がありました。

講演会の講師が、東京パラリンピックに出場が内定した選手であったため、障がいのある人が頑張っていることを応援したいという声が多くありました。パラリンピックへの関心が高まることを期待します。

人権課題への関心度

「子どもへのいじめ・虐待」が25%と最も高く、次いで「障がいのある人への差別」が18%、「女性に対する差別」が14%、「インターネットによる人権侵害」が11%となっています。上位は昨年同様の項目です。

「高齢者に対する差別」が昨年より約5ポイント増え、11%と初めて10%を越えました。高齢化が進むことで課題がより大きくなってきていると感じます。また、「同和地区出身者に対する差別」は7%で、「部落差別解消推進法」で「現在もなお部落差別が存在する」とうたわれているとおり、いまだに差別があることがうかがえます。

差別や人権侵害への対応

「身近な人に相談」が31%、「黙って我慢」が23%、「学校に相談」が13%でした。昨年に比べて「身近な人に相談」が7ポイント増加し、「学校への相談」が8ポイント減少

しています。本市では、いろいろな相談窓口を周知する活動を今後も進め、さまざまな課題に対応できるように努めていきたいと思ひます。

人権意識を深めるために

今回の講演を聞いて、「心のバリアフリー」「真のバリアフリー」に気付いたり関心を持つたりしたという意見が多く見られました。自分と違う立場の人の感じ方や視点に触れ、新たな気付きがあり、人権への意識が深められたことがうかがえます。いろいろな立場の人や経験のある人から話を聞き、視野を広げていくことが、人権意識に関心を持つたり、人権意識を深めたりするのに有効だということが分かります。

講演会の内容への満足感、人権問題への関心や理解の深まりについては、98%以上の人が良い評価でした。市民の皆さんには、こうした講演会を積極的に活用し、人権意識を深めていただきたいと思ひます。

本の出会い

図書館司書がセレクトした新刊情報

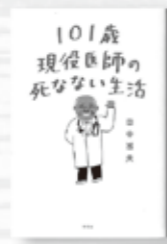
開館時間 午前9時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)
休館日 月曜日
問い合わせ 図書館 (☎01669)

御社のチャラ男



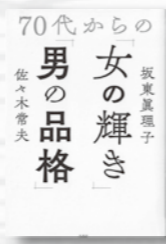
著者▷ 糸山 秋子
チャラ男って本当にどこにでもいるんです。一定の確率で必ず。ひそかにチャラ男と呼ばれている三芳部長。周りの人々が彼を語ることでこの世界と私たちの「現実」が見えてきて。

101歳現役医師の死なない生活



著者▷ 田中 旨夫
体に良い習慣を毎日どれだけ取り入れられるかで「余命」は変わる。「毎日30分の散歩」「老化を防ぐオリーブオイルを取る」など、101歳の現役医師が毎日実践する45の習慣。

70代からの「女の輝き」「男の品格」



著者▷ 坂東 眞理子・佐々木 常夫
70代はまだまだ頭も身体も動く黄金世代!ベストセラー作家&生き方名人の坂東眞理子と佐々木常夫が、人生100年時代をさらに豊かに生きるためのコツやヒントを語る。